

秋季火災予防運動を実施

秋季全国火災予防運動11月9日(日)～15日(土)

11月9日(日)から15日(土)までの1週間、全国一斉に「秋季火災予防運動」が実施されます。空気が乾燥し火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防の意識を高め、火災による死者の減少と財産の損失を防ぐことが目的です。

万が一火災が発生したときに被害を最小限にするため、消防用設備を定期的に点検しましょう。

火の元の確認を生活習慣に

今年度の全国統一防火標語は「火の確認 いい日を支える いい習慣」です。火災のリスクは生活のさまざまな場面に潜んでいます。料理後、外出時、就寝前など火の元を確認することを習慣化しましょう。

火災予防に関する情報は、富士山南東消防本部のホームページに随時掲載しています。火災予防週間を機に、適切な対策ができているか確認しましょう。



消防用設備の定期点検

住宅には火災報知機の設置が義務付けられています。火災の早期発見が命を守ります。適切に設置し、10年を目安に交換し、正しく機能するよう定期的に点検しましょう。

また、アパートや店舗などの建物の所有者・管理者は、消防法で消火器や自動火災報知設備などの「消防用設備」の定期的な点検と、消防署への報告が義務付けられています。点検は、半年ごとの機器点検と年1回の総合点検があり、建物用途により1年に1回(店舗、飲食店など)または3年に1回(工場、アパートなど)の点検報告が必要です。命を守るため、期限内の確実な実施をお願いします。

自ら行う消火器の点検報告
(総務省消防庁) ▶



富士山南東消防本部 972-5802

いつまでも健康な歯で元気に過ごしましょう

80歳になっても20本以上の歯を持ち続けることを目標に

健康な自分の歯を持ち続けることは、全身の健康維持につながります。歯をしっかりとみがくことはもちろんのこと、定期的に検診を受け、歯を大切にしましょう。

噛むカムケア 8020 コンクール

市では、毎年「噛むカムケア8020コンクール」を行い、80歳以上で20本以上自分の歯がある人を表彰しています。歯の状況、歯肉の状況、日常生活や運動機能、栄養、口腔機能、認知症の関係などを得点化して判定します。審査期間は毎年4月下旬から5月下旬までです。歯の健康を保ち、コンクール入賞を目指しましょう。

市内在住の山入さんが県歯科医師会長賞を受賞

6月に行った「噛むカムケア8020コンクール」では、山入文明さん(83歳・伊豆島田)が最高得点を獲得し、県歯科医師会長賞を受賞しました。山入さんは3年連続の受賞。駿東歯科医師会裾野市支部は、初め

での殿堂入りとしました。

山入さんは健全歯が多く、毎年かさずに定期的な歯科検診を受けています。「歯科医院から教わった歯間ブラシの方法を日々活用し、努力しています」

と歯の健康の秘訣を語ってくれました。



山入 文明さん(中央)

成人歯周病検診は11月30日(月)まで

成人歯周病検診を11月30日(月)まで実施しています。対象者には、6月に受診票を送付しました。

自分の口の中の健康を見直す良い機会です。対象者は期間内に受診してください。



健康推進課 992-5711